

ふと立ちよった古本屋で「冷静と情熱のあいだ」などを購入。  
飛行機の中でも読もうかな～と思っていたのですが、  
辻仁成さん(漢字がでない...)の方だけ読んでしまいました。  
順正や、あおいや、芽実に、読むことが、辛くなるくらい、  
いろいろなことを思い浮かべさせられながら。  
過去を、もちろん、もう新しい過去で塗りつぶしされはいるそれだが、  
その過去を、さらに塗り潰して行きていくことができるのだろうか。  
しかも、塗っても塗っても見え隠れする過去を。  
でも、前を、本当に前なのか分からないが、  
きちんと、前を向いて歩いていきたいものだ。  
... な～んて。